

雄山中学校ならではの体育大会

校長 片山 亮一

朝夕めっきり涼しくなり、アキアカネが飛び交う頃となりました。地域並びに保護者の皆様には、日頃から本校の教育にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

9月11日、『四神奮迅 激闘を制し、勝利の旗をつかみ取れ』をスローガンに、第72回体育大会を実施しました。

「奮・闘」の文字どおり、「力をふるって戦う」「力いっぱい努力する」などを意識しながら、どの生徒も事前の準備や練習を大切に、当日の競技や演技にも全力で臨んでくれました。次々に展開される力戦・名勝負が見る側の心を熱くし、多くの勇気やエネルギーを与えていました。そして何よりも、一人一人の頑張りを生み出す互いの励ましや心配り、支え合いなど、日頃見せる「雄中生のよさ」がより輝く一日となりました。

競技を終えて退場門をくぐり団席後方まで駆け抜ける勇壮な姿、閉会式での若さあふれる校歌斉唱、兄弟学級による縦割り練習に支えられた全校生徒による「よさこいソーラン」など、雄山中学校ならではの体育大会に、私自身、心から魅了されました。

例年、体育大会のエンディングで踊られる「よさこい」ですが、今年も生徒たちの心を熱くし、「生きていること」への喜びを体全体で実感しているようでした。

この「よさこい」は、俳優・武田鉄矢が熱血教師を演じるドラマ『金八先生』によって全国的に知名度を上げましたが、1985年に「学校の荒れ」を立て直そうと北海道の稚内南中学校の文化祭で踊られた「南中ソーラン」が始まりだそうです。

以前、私はある講演会の録音を聴く機会があり、この稚内南中学校での取り組みについて知りました。講演では、学校が荒れていたときの苦労や葛藤、「南中ソーラン」が生まれるまでの生徒と教職員の対話、家庭教育に父親の出番を促す「おやじの会」の実施などが伝えられ、最後に中学2年生男子の日記の一部が紹介されていました。

だれかに見守ってもらえている安心感、親子の「絆」について深く考えさせられる心温まるメッセージを紹介します。

ぼくのお父さんは、長距離トラックの運転手。
遠く県外まで出かけるので、ぼくが起きている間はいつもいないし、昼間もだいたい眠っている。
でも、ぼくはちっとも寂しくなんかない。
だって、深夜に、どんなに遅くなっても、どんなに疲れていても、お父さんは必ずぼくの部屋をそっとのぞき、「ただいま、いま帰ったよ！」と声をかけてくれる。
眠っているけど、ぼくは知っている。



10月～11月の主な予定



10月 1日(月)～5日(金)
社会に学ぶ「14歳の挑戦」
10月 1日(月) 合唱練習スタート
10月 2日(火) 1年生校外学習
10月 6日(土)、7日(日)
県選抜大会(屋外) 県ジュニア陸上
10月15日(月) 学校納金口座振替日
10月16日(火)
研修会のため午後放課(給食なし)
本校、英語科の会場校
10月17日(水) 秋のさわやか運動
10月18日(木)、19日(金) 中間考査

10月27日(土) 学習発表会
合唱コンクール、PTAバザー
10月29日(月) 27日の振替休業日
10月30日(火)～11月 7日(水)
教育相談
11月 6日(火)、7日(水)
中教研学力調査
11月 8日(木) 3年生「高校説明会」
11月15日(木) 学校納金口座振替日
11月23日(金) 北信越中学校駅伝競走大会
11月28日(水)～11月30日(金)
期末考査

みんなが輝いた第72回体育大会

9月11日（火）「四神奮迅～激闘を制し、勝利の旗をつかみ取れ～」のスローガンの下、第72回体育大会を行いました。夏休み中から、3年生のリーダーがマスコットの制作やパフォーマンスの練習に励みました。また、大会までの3年生の頑張りになんとか応えようと、炎天下の中、一生懸命に取り組む1、2年生の姿がありました。本番では、その努力の成果が余すところなく発揮されていました。平日にもかかわらず、たくさんの保護者や地域の方々に声援を送っていただき、本当にありがとうございました。

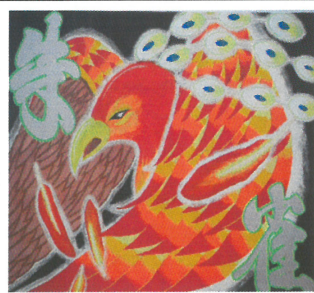
総合優勝 玄武団

競技の部	優勝	玄武団	次勝	朱雀団
パフォーマンスの部	最優秀賞	白虎団	優秀賞	朱雀団
マスコットの部	最優秀賞	朱雀団	優秀賞	玄武団



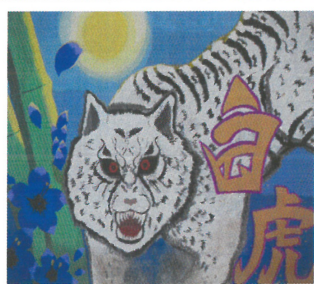
朱雀団 副団長 上田愛梨

私は体育大会を通してたくさんのことを学びました。一つ目は仲間の大切さです。つらい練習での心の支えとなったのが朱雀団みんなの笑顔です。リーダーの思いを受け止めて最後の最後まで全力で楽しんでくれました。二つ目は、先生方への感謝です。うれしいときや悩んだとき、悲しいときには一緒に気持ちになってくださいました。ありがとうございました。朱雀の皆さん、一緒に競えてよかったです。最高の思い出をありがとうございました。



白虎団 副団長 田村 涼

夏休み前から総合優勝を目指して頑張ってきました。パフォーマンスでは今までにないボディーパーカッションを取り入れ、競技では白虎団全員で全力で応援しました。その結果、パフォーマンス最優秀賞をとることができました。副団長として頼りないところがあっても、団長や団のみんなに支えてもらったことに本当に感謝しています。白虎団員だけでなく、他の団リーダーや先生方にも感謝しています。白虎団大好きです。



青龍団 副団長 成瀬亜弥

副団長の仕事は、私が憧れていた華やかな姿ではなく、よりよいパフォーマンスにするために細かな練習予定を立て、踊りや動きを覚えやすいように工夫することでした。しかし、思い通りの練習をすることができず、心が折れそうになることもありました。そこで、やり方を工夫すると、団員のやる気が日に日に出てきて、団員みんなで練習を楽しむことができるようになりました。こんなに楽しめたのは団員や支えてくれた方々のおかげです。



玄武団 副団長 山田 萌

玄武団のみんなには本当に感謝しています。暑い日が続いたにも関わらず一生懸命に声を出してくれたり、ダンスをしてくれたり、とても心強かったです。みんなが全力で挑んでくれたおかげで総合優勝をとることができました。友達が、私が副団長でよかったと言ってくれたことが本当にうれしかったです。夏休みから一緒に頑張ってきた団リーダーや先生方、玄武団のみんなには感謝してもしきれません。玄武団のみんなと過ごした日々は、とても楽しくて最高の時間となりました。

